

# アーム式ベストドレーン工法

〈レンタル仕様〉

ベスト・ドレーン工法とは  
(独)農研機構と(株)パディ研究所で  
共同開発した特許工法です。

特許申請済 意匠特許請願済

狭小区画や小規模団地の  
FOEAS 施工や  
暗渠整備に



最大掘削深度  
800mm

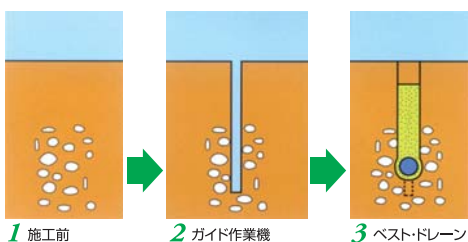
最大埋設管  
100mm

1つのアタッチメントにカッター部と管・疎水材敷設部を併せ持つリバーシブル構造

■施工手順

■カッター部でガイド開削

■敷設部で暗渠管埋設と疎水材投入



カッター部でガイド開削を行うため玉石類が存在したり硬い土質などが心土部に存在しても施工可能。



敷設幅  
90mm

## 【特 長】

1. 油圧ショベルのアタッチメントとして容易に装備できる
2. 機材のレンタルでは運搬にトレーラの必要がなく低コスト
3. ポリコルゲート巻管の50mm～100mmに対応
4. 疎水材はもみ殻以外にチップ、碎石等も可能

## メリット

- ①開削幅が90mmと狭いことから、農業機械が落輪する可能性が低い
- ②疎水材の使用量が少ない
- ③作業因数は2～3人でありトレンチャー工法の10人程度に対し大幅に削減
- ④作業員数を2～3人に半減できる
- ⑤コストは油圧ショベル掘削の30%以上、トレンチャーの20%以上ダウン

キャタピラー九州株式会社

本社 福岡県筑紫野市針摺東三丁目6番1号 TEL 092-924-1211

# アーム式ベストドレーン（暗渠管敷設）工法

## カッター工 ①油圧ショベル（312）の引手でガイドを開削

アームを伸ばし引手で任意の深さに



アーム式ベストドレーン機フル装備

- 角度計ポスト
- 受光器
- 補助プレート

## ②両サイドのボルトを外し回転させることで、カッター部と管・疎水材敷設部を 180 度回転させるリバーシブル構造



## 暗渠管敷設工



レーザー受光器



敷設幅  
90mm

- ③レーザー受光器により、開削深度チェック
- ④前進または後進で作業ができる
- ⑤油圧ショベルとベストドレーンの接続部をフリーとすることで、予め開削したガイドへの追従がスムーズ

## オプション



①継手工用型杵



②コルゲート管収納器

アーム式ベストドレーン機 付属装備品 ①レーザー受光器 ②受光器設置用マスト(角度計付) ③泥詰り防止 ④収納器、付属品一式

